

microSD カード 取り扱い手順書

富士通株式会社

2015 年 4 月

この度は、ライフサイクルマネジメントライセンス&モジュール「型名：PY-LCM11 / PYBLCM11」(以下、本オプション) をご購入頂き、誠にありがとうございます。

本オプションは、各種データの保存を目的とした microSD カードを使用致します。本文書で、microSD カードの取り付け、取り外し、交換に関する手順を説明致します。

製品の取り扱いに関しましては、本文書と併せ、各機種のアップグレード&メンテナンスマニュアル (以下、UMM) をご参照ください。

1. microSD カードの取り付け

- 平均作業時間 : 5 分
- 作業分類 : ユニットのアップグレードおよび修理 (URU)
- 必要な工具 : 工具不要

(RX4770 M1 においては、トップカバーを取り外す際に「プラス PH2 / (+) No. 2 ドライバ」が必要です。)

1-1. 準備手順

- ▶ 対象サーバの主電源が完全に切断されていることを確認してください。
詳細は各サーバの UMM に記載の「サーバのシャットダウン」、「主電源からサーバの取り外し」をご参照ください。
- ▶ ラックに取り付けられているサーバを取り扱う場合は、ラックからサーバを引き出します。詳細は各サーバの UMM に記載の「ラックからのサーバの引き出しおよび取り外し」をご参照ください。
- ▶ サイドカバーまたはトップカバーを開けます。
詳細は各サーバの UMM に記載の「サーバを開ける」をご参照ください。
- ▶ システム送風ダクトが搭載されているサーバを取り扱う場合は、システム送風ダクトを取り外します。詳細は各サーバの UMM に記載の「システム送風ダクトの取り外し」をご参照ください。



microSD カードの取り付けには、周辺部品を取り外す必要がある場合があります。周辺部品の取り外し手順等詳細については、各サーバの UMM をご参照ください。

1-2. microSD カードの取り付け



図 1 : microSD カード

※写真は microSD カードの一例です。

色や印字内容については予告なく変更される場合があります。

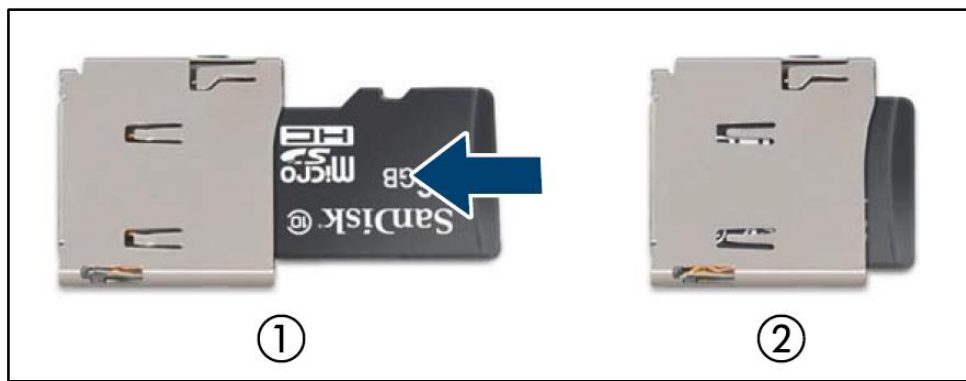


図 2 : microSD カードの取り付け

- ▶ 所定の位置に固定されるまでラベル面を上に向けて microSD カードを microSD カードのスロットに挿入します①。

i microSD カードのスロットの搭載位置は、各サーバの UMM に記載の「システムボードのコネクタと表示ランプ」をご参照ください。

(RX4770 M1 においては、BMC ライザー上にスロットが搭載されています。)

1-3. 終了手順

「1-1. 準備手順」と逆の手順でサーバを元の状態に戻します。

2. microSD カードの取り外し

- 平均作業時間 : 5 分
- 作業分類 : ユニットのアップグレードおよび修理 (URU)
- 必要な工具 : 工具不要

(RX4770 M1 においては、トップカバーを取り外す際に「プラス PH2 / (+) No. 2 ドライバ」が必要です。)

2-1. 準備手順

- ▶ 対象サーバの主電源が完全に切断されていることを確認してください。
詳細は各サーバの UMM に記載の「サーバのシャットダウン」、「主電源からサーバの取り外し」をご参照ください。
- ▶ ラックに取り付けられているサーバを取り扱う場合は、ラックからサーバを引き出します。詳細は各サーバの UMM に記載の「ラックからのサーバの引き出しおよび取り外し」をご参照ください。
- ▶ サイドカバーまたはトップカバーを開けます。
詳細は各サーバの UMM に記載の「サーバを開ける」をご参照ください。
- ▶ システム送風ダクトが搭載されているサーバを取り扱う場合は、システム送風ダクトを取り外します。詳細は各サーバの UMM に記載の「システム送風ダクトの取り外し」をご参照ください。

i microSD カードの取り外しには、周辺部品を取り外す必要がある場合があります。周辺部品の取り外し手順等詳細については、各サーバの UMM をご参照ください。

2-2. microSD カードの取り外し

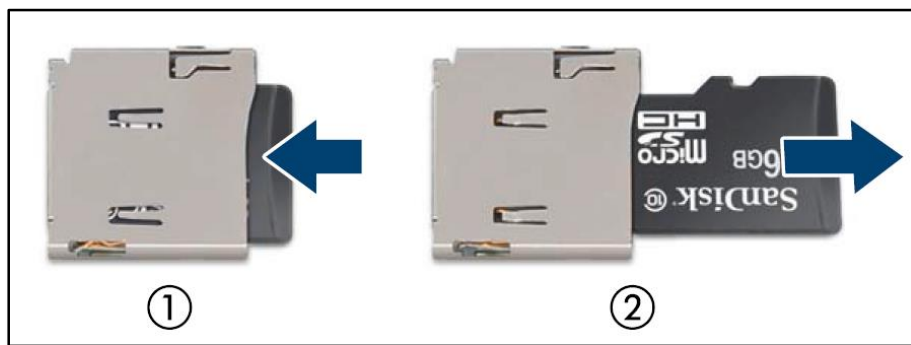


図 3 : microSD カードの取り外し

- ▶ microSD カードを取り出すために、ゆっくり押し込んで、離します①。
- ▶ microSD カードをまっすぐスロットから引き出します②。



microSD カード取り外しは、システムボードの交換時にも必要となります。各サーバの UMM に記載の「システムボードの交換」と併せて、本書もご参照ください。

(RX4770 M1 においては、BMC ライザーの交換時に本作業が必要となります。UMM に記載の「BMC ライザーの交換」と併せて、本書もご参照ください。)

2-3. 終了手順

「2-1. 準備手順」と逆の手順でサーバを元の状態に戻します。

3. microSD カードの交換

- 平均作業時間 : 5 分
- 作業分類 : ユニットのアップグレードおよび修理 (URU)
- 必要な工具 : ニッパ

(RX4770 M1 においては、トップカバーを取り外す際に「プラス PH2 / (+) No. 2 ドライバ」が必要です。)

3-1. 準備手順

- ▶ 故障したサーバを特定します。
詳細は各サーバの UMM に記載の「故障したサーバの特定」をご参照ください。
- ▶ 対象サーバの主電源が完全に切断されていることを確認してください。
詳細は各サーバの UMM に記載の「サーバのシャットダウン」、「主電源からサーバの取り外し」をご参照ください。
- ▶ ラックに取り付けられているサーバを取り扱う場合は、ラックからサーバを引き出します。詳細は各サーバの UMM に記載の「ラックからのサーバの引き出しおよび取り外し」をご参照ください。
- ▶ サイドカバーまたはトップカバーを開けます。
詳細は各サーバの UMM に記載の「サーバを開ける」をご参照ください。
- ▶ システム送風ダクトが搭載されているサーバを取り扱う場合は、システム送風ダクトを取り外します。詳細は各サーバの UMM に記載の「システム送風ダクトの取り外し」をご参照ください。



microSD カードの交換には、周辺部品を取り外す必要がある場合があります。周辺部品の取り外し手順等詳細については、各サーバの UMM をご参照ください。

3-2. microSD カードの交換

- ▶ 「2. microSD カードの取り外し」の項に記載されているように、故障した microSD カードを取り外します。
- ▶ 「1. microSD カードの取り付け」の項に記載されているように、新しい microSD カードを取り付けます。

i SD カードには、ユーザ情報(IP アドレスなど)が含まれています。SD カードを交換後、故障した SD カードをユーザに返却してください。故障した SD カードの廃棄をユーザに依頼された場合は、次の手順に従い破壊を行ってください。また、破壊した SD カードは廃棄をしてください。

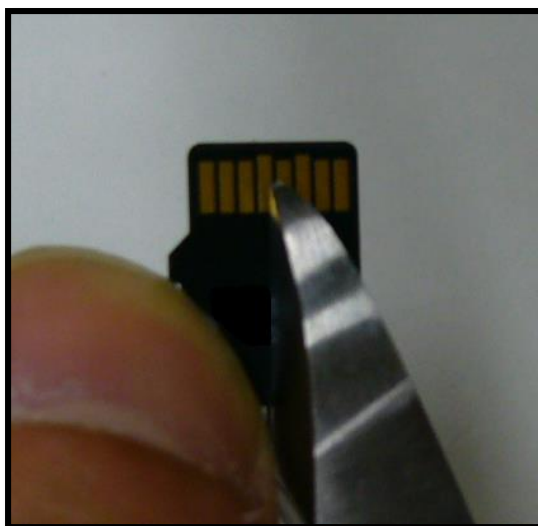


図 4 : microSD カードの破壊

図のように、ニッパを使用して、SD カードを 2 つに切断します。

3-3. 終了手順

「3-1. 準備手順」と逆の手順でサーバを元の状態に戻します。

—以上—